

平成 24年度第 2回青森市景観審議会 会議概要

会議名	平成 24年度第 2回青森市景観審議会
開催日時・場所	平成 24年 8月 9日 (木) 13時 30分 ~ 16時 00分 青森市役所本庁舎 議会棟 4階 第二委員会室
出席者	<p>< 青森市景観審議会委員 > 板垣委員、櫻田委員、佐々木委員、須藤委員、玉熊委員、対馬委員、藤川委員、水尻委員、森内委員</p> <p>< 事務局 > 都市整備部 :工藤理事、木村次長、小野次長 都市政策課 :長井課長、工藤副参事、今野主幹、木村技師</p> <p>< 事業課 > 健康福祉部子どもしあわせ課 館山課長、奥崎副参事、高坂室長 建築営繕課 米谷課長、和田主査 (設計委託先 (株)たいら山口設計 :山口、佐々木) 浪岡事務所都市整備課 :岡山課長、館田主幹、佐藤主査、奈良主査 企業局水道部整備課 我満主幹、白濱主査</p>
欠席者	安保委員、石澤委員、近藤委員、斎藤委員、竹浪委員、西塚委員、山本委員
担当課	案件 1 母子生活支援施設整備事業について 【資料 1】母子生活支援施設整備事業資料に基づき説明。
委員	園庭の仕上げは何を考えているか。
担当課	ダストで考えている。
委員	大きい樹木が 2本計画されているが、もう少し園庭寄りに配置した方が、後々大きくなった際に隣の方のご迷惑にならないのではないか。
担当課	検討する。
委員	ドウダンツツジは丸いたま物なので、間に、高低差のある常緑のものが円錐形でよいのではないか。
担当課	今のところは、ドウダンツツジで考えている。
委員	コンクリートの打ちっぱなしというのはちょっと冷たい感じがするので、せめて、ガラスブロックの色を透明ではなくて絵のついたものや温かみのある色もアクセントとして使ってはどうか。
委員	建物の色合いと塀とのバランスは良いと思う。あまり塀を目立たせるのも、施設の目的上どうかと思うので、あまり目立たない、シンプルな方が良いかなと思う。
担当課	我々としてもそんなに違和感がないと考えている。
委員	園庭は芝生がよいのではないか。

担当課	芝生だと維持管理が必要になるため、なるべく手間のかからないもので考えたい。
委員	塀にツタをつたわせてみたらどうか。
委員	塀の高さが 1.35m なので、ツタがつたっていく高さが少し足りないのではないかと。
担当課	管理のこともあってなかなか難しいと思う。
議長	この審議会としての意見をまとめたいと思う。特に大きな問題があるというご意見は無かった様なので、この案件に対して異議なしと判断する。
担当課	案件 2 沖島田線道路整備事業（橋梁整備）について 【資料 2】島田線道路整備事業（橋梁整備）資料に基づき説明。
委員	橋の親柱にマスコットは必要なのか。景観として、私は違和感を覚える。
委員	今はキャラクターというのは人気で流行っているが、何年続くかわからないので、こういうキャラクターが無いほうが私はいいかなと思う。
担当課	中世のイメージキャラクターをポイントとしてあしらい、インパクトを与えるということで親柱にマスコットを施している。
委員	高欄と親柱の色調に差があるので、高欄と親柱の色を同系色気味にさせていただきたい。
委員	そもそも親柱というのは必要なのか。
担当課	親柱は、橋梁を構成する上で必要なものではないが、今まで造ったほとんどの橋で親柱があり、親柱に橋の名前を表示したりしている。
委員	構造とデザインとをちゃんと分けて、景観に即する考え方で再検討したほうがよいのではないかと。
議長	では審議会としては、周辺の景観の邪魔にならないように、出来るだけ目立たないような設計。橋としての機能と安全性が確保される限り、出来るだけ目立たないようなデザインとして、再検討していただく。」ということでもまとめたいと思う。
担当課	案件 3 浅虫系送水管耐震化事業 野内川水管橋築造工事について 【資料 3】浅虫系送水管耐震化事業 野内川水管橋築造工事資料に基づき説明。
委員	水道管の色は水色ということだが、彩度、明度についてはなるべく落ち着いた色のほうが、周囲に溶け込みやすいのではないかと。
委員	水道管は水だから水色にして、トラスに関してはアイボリーということだが、トラスと水道管そのものはパイプなので同じ色にしたほうが違和感なくなるのではないかと。
委員	私は全部同じ色にするというイメージがなくて、トラスが茶色で水道管の色が藍色だったらあまり目立たなくていいのかなと思った。
委員	色を分けるのは、例えば構造体と間違わないようにとか理由があれば分けてもよいと思う。

委員	トラスをアイボリーにする理由はあるのか。
担当課	周辺はあまり建物とかが無く、アイボリーであれば空の色とかとも比較的溶け込むのではないかなと考えた。
委員	トラスの高さは出来るだけ低いほうが目立たないので、構造的に支障がない範囲で出来るだけ高さを低くしていただきたい。
担当課	強度計算して、出来るだけ低くすることが出来ると思うが、点検で歩くときに頭をぶつけない程度で考えたい。
委員	強度についてはは色とか形よりも大切だと思うので、強度についてもおろそかにしないでほしい。
担当課	了解した。
委員	水道管だから水色にしているとのことだが、水道管だと識別できるようにすることが必要なのか。
担当課	この橋の中央に空気弁が付くのだが、30～40年経つと腐食してきて水が噴出することがあり、その水が吹いた時に近くを通行した方が「水色だから水道管かな、水道部に電話してみよう。」という発想を持っていただければなということで水色にしている。
委員	この辺りは非常に景色のよいところなので、このいい景色を残していただくように努力していただきたい。できればあまり色合いがたかさん無いようにしていただきたい。
担当課	検討する。
議長	いろいろな意見が出たが、最終的には、周辺の景観に馴染むように、なるべく目立たないような色彩、形体にして欲しい。特に形体では、高さを出来るだけ低く抑えてほしい。」ということを審議会の意見として、これから計画を進めていただきたい。
	- 終了 -